

# セキュリティドア 取扱説明書

## <レバー式自動施錠>

※ 本錠はレバー式自動施錠タイプです。

現場側のAutoLockとFreeの切替プラグがAutoLockになっている時に自動施錠します。必ず下記要領にて施錠・解錠手順をご確認下さい。

1. 出荷時の記憶番号は（ CA9163 ）です。

2. 錠のかけ方（AutoLockの時のみ）

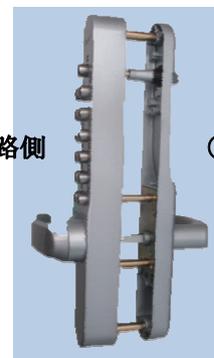
① 道路側： 扉が閉まれば自動施錠します。

② 現場側： 扉が閉まれば自動施錠します。

※ Freeの時は施錠できませんのでご注意ください。

①道路側

②現場側



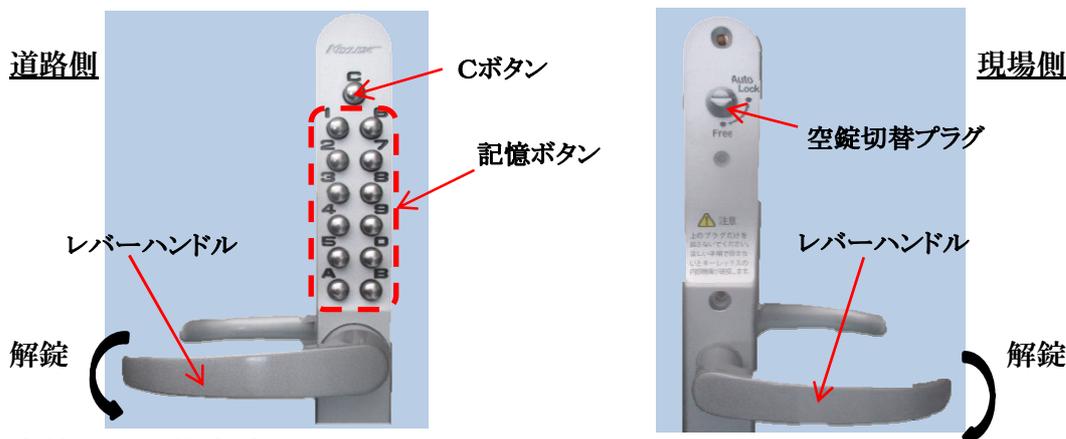
3. 錠の開け方（AutoLockの時のみ）

① Cボタンを押して下さい。誤操作の記憶ボタンが解除されます。

② 記憶ボタンを正しく確実に押して下さい。

③ レバーを下側に回して扉を開けます。

※ 現場側からはレバーを下に回して扉を開けます。



4. 空錠への切換方法（AutoLock→Free）

（扉を閉めても錠がかからない状態にする方法）

① Cボタンを押して下さい。

② 正しい記憶番号を押します。

③ 道路側のレバーを下にしたままの状態にします。

④ 現場側の空錠切替プラグをAutoLockからFreeにコイン等で回します。

※ FreeからAutoLockへは、現場側の空錠切替プラグを【Free】から【AutoLock】にして下さい。

5. 記憶番号の設定に関するご注意

① 本錠は1～12桁までの任意の記憶番号が設定できます。

② 1つのボタンにつき設定は1回だけです。

同じボタンを2度押しする設定はできません。

（例） 1・1・2・2・3・3

↓

1・2・3の設定になります

③ ボタンを押す順番は自由です。

（例） 1・2・3、 2・3・1、 3・1・2

どれでも解錠します。

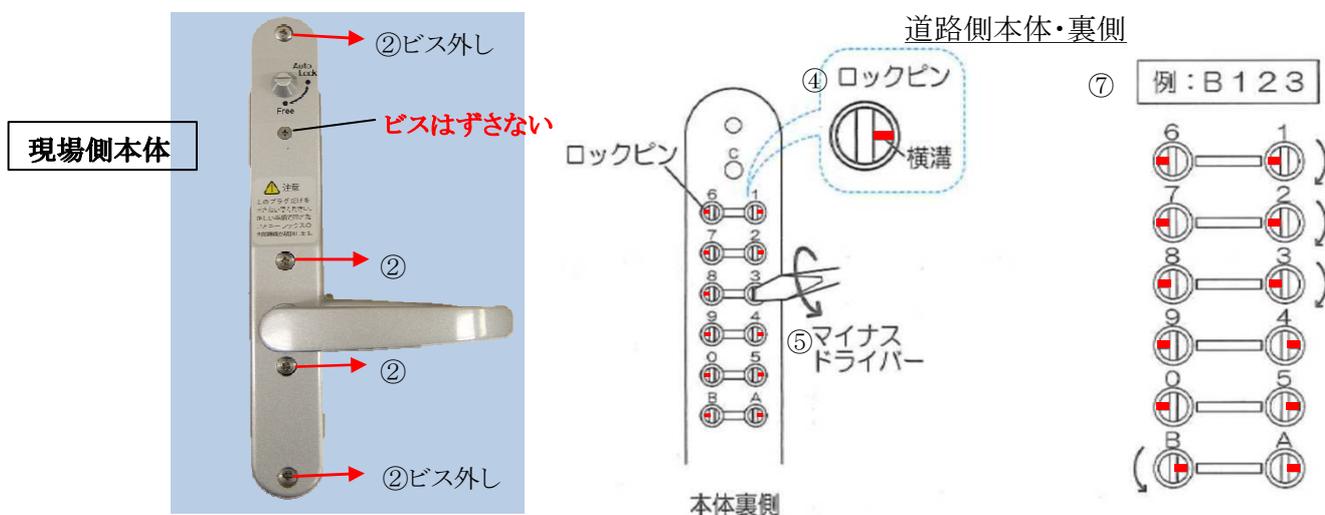
④ 記憶番号変更時の部品の紛失や破損は、お客様責任でお願いします。



## 6. 記憶番号の変更手順

- ① 現場側の空錠切替プラグをAutoLockにして下さい。
- ② 現場側の本体の4本のビスを外して、道路側本体を扉から引き取ります。
- ③ Cボタンを押して誤操作の記憶ボタンを解除します。
- ④ 道路側の本体裏面のロックピンをマイナスドライバーで回転し、記憶番号の変更を行います。
- ⑤ 現在記憶されているロックピンの横溝を外側に全て回転させて下さい。(全てのクリアをします)
- ⑥ 新規に記憶する番号を必ず記録して下さい。
- ⑦ 新規に記憶する番号のロックピンの横溝を中央部の横溝に合わせて下さい。
- ⑧ Cボタン+新規記憶ボタンを押し、レバーハンドルが解錠方向に回る事を確認して下さい。
- ⑨ 本体を扉に取付ます。この時空錠切替プラグの溝はヨコ向き【AutoLock】で取付けます。取付けは角芯棒と本体とスペーサーを確実に付けて下さい。

※ 吊元変更ネジは絶対に外さないで下さい。



## 7. 危険防止の為に下記の注意事項をお読みください。

### ■ 取付時の注意

各部取付ねじの締め付け時は、必ず**手動ドライバー**をご使用ください。  
**電動ドライバーは使用しないでください。また、締め過ぎは故障の原因になります。**

### ■ 取付ネジのゆるみ

- ① 各部取付ネジのゆるみは、防犯及び落下防止の為に、定期的に増し締めして下さい。
- ② ドアクローザーは定期的に開閉速度調整ネジで調整して下さい。

### ■ 本体の設置

- ① 扉本体は規定通り設置して下さい。  
 レベルがとれていなかったり、仮囲いのパイプ等に無理に取付ると開閉支障をきたし、故障の原因になります。
- ② キーレックス錠本体の厚みが境界線よりも突出しますので、身体を傷つけたり、衣服が引っ掛かる恐れがありますので、適正な位置で扉本体を設置して下さい。

### ■ 他の用途での使用

- ① レバーにぶら下がったり、足を掛けたりしないで下さい。

### ■ 操作上の注意

- ① 製品の分解・改造は絶対に行わないで下さい。
- ② ボタンを押しながらレバーの操作をしないで下さい。
- ③ 本体に潤滑剤等を使用しないで下さい。
- ④ 表面の手入れは柔らかな布で拭きして下さい。  
 汚れのひどい場合は中性洗剤を使用して下さい。